日本医療機能評価機構認定病院

那珂川病院だより

VOL.50 平成24年1月

〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

ワークライフバランスを意識して

事務長　樋口　広行

昨年は、日本中を震撼させた東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、年が明けた今でも復興への道筋が見えてこないという極めて厳しい状況がなお続いています。被災地の方々がどんな気持ちで新年を迎えているかを思うと心痛む毎日です。

当院では2010年に着工した増改築工事が昨年11月に完了し、新年とともに施設も新たな一歩を踏み出しました。今回の工事では、MRI室と健診センター（マンモグラフィー完備）の開設や、手術室の拡張など診療設備の充実も図りましたが、同時にワークライフバランスを見据えた職場環境改善も意識して行ってきました。いつの時代においても病院に求められているのは、質の高い医療を提供する事に変わりはないのですが、そのためには健全な経営と、職員が満足をもって働き続ける環境が整っていなければなりません。現在当院職員の平均年齢は36歳、女性が80%を占めています。したがって結婚、出産、育児を迎える職員が毎年多数います。この時期は仕事をどんどん吸収できるスキルアップの時期でもありますので、仕事と育児の両立支援は病院としても重要な課題と認識し、院内託児所の拡張と機能充実を行うとともに、育児中の職員が働きやすいシフト（時短勤務制）の導入を実現しました。当院では育児休業取得率に関しては、制度開始以来ずっと100パーセントを維持しておりますが、さらに働きやすい環境を充実させるために、国がすすめている「次世代育成支援対策法」に基づく一般事業主行動計画にも参画しました。

増改築による職場環境改善のもうひとつの事例としては、地下にあった栄養部（厨房）を1階に上げ、オール電化の機器を導入することにより、快適な環境で仕事ができるようになっただけでなく、大規模災害発生によってライフラインが寸断された際も自家発電で殆どの調理が可能となる環境が整いました。

今年は新たな施設、設備でのスタートの年となりますが、これからも地域に根ざす病院として、引き続き良質な医療・看護サービスの提供に職員一同努めて参る所存です。皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりましたが、被災地の復興をはじめ、社会情勢が少しでも好転し、今年一年が皆様にとって平和で実りの多い年であることをお祈りいたします。

桃

訪問看護における家族ケア

訪問看護部　松下　徳代

がんの終末期の患者さんは、緩和ケア病棟、一般病棟、在宅のいずれかで残された時間を過ごされています。訪問看護部の看護師は、「家で過ごしたい」という患者さんの思いに応えるため、主治医や病棟看護師、その他関係する職種の人たちとの連携を取りながら、在宅でその人らしい時間を過ごせるための支援をしています。

中でも重きを置いているのは、ご家族へのケアです。患者さんの多くはそれまでの長く辛い抗がん治療を経て、心身ともに疲れ果てておられます。その患者さんに対して、ご家族がどう接していいのか分からずに戸惑われていることもしばしばです。生活介護だけでも大変ですが、苦痛などの様々な症状が現われてくると、ご家族の不安は増大してしまいます。

私たち訪問看護師は、これからどういうふうに患者さんの病状が変化していくかということを訪問開始から主治医とともにアセスメントし、ご家族にもわかりやすく説明をしています。その上で患者さんの症状が早く緩和するように努めています。中にはパニック状態になってしまわれるご家族もおられますが、そういう時には訪問回数を増やし、傾聴や説明をくり返し行い、どういうことに困っておられるかということを受け止めて寄り添います。私たち訪問看護師が身近な存在として常に傍にいることを認めていただくことで、ご家族の苦しみや不安が軽くなることをたびたび実感しています。

在宅で療養する患者さんにとって家族は自分のことを誰よりも理解してくれる強い味方です。残された大切な時間を共に歩んでこられたご家族の傍らで、少しでも長く送っていただきたい。そういう思いで私たちは患者さんとご家族に寄り添っています。

緩和ケア病棟のボランティアをして思うこと!!

小川　晃

ボランティアとして那珂川病院に来るようになって、1年半になります。私は、今年67歳、定年退職する前から『定年後は、今までしてきた食品検査の仕事はもうしない!!』『少しでも今まで社会にお世話になったお返しを!!』と考えてきました。

50歳から神経症の持病を克服するための自助グループに参加し、また市民ホスピスの活動にも参加して、それが現在も続いています。定年後の活動のひとつとしてホスピスボランティアをしようと考えました。福岡県の養成講座を受講し、那珂川病院のボランティアとして活動させてもらうことになりました。『男性が病人のお世話をするんですか?』と聞かれることがありますが、『男性だから出来ることもある!』と思っています。毎週水曜日、『リリー喫茶』で、患者さんやご家族のお相手をさせていただいています。

私は、静岡県の生まれですが、定年を福岡で迎えました。娘二人は、九州の男性と結婚し、福岡で生活しています。2年前から、私の住んでいる南区のシニアクラブの会長を引き受け、この地でシニアの仲間と老後を助け合いながら生きて行こうと考えています。

病棟で初めて患者さんやご家族の方と会った時は、「この方と出会えたのは、何かの縁かもしれない」と感じ、「言葉を少し交せるだけで良い」と思っています。そして『ボランティアなんて大げさなものでなく、同じ町に住む隣人として接したい!』という思いで活動させていただいています。『人は、一人では生きられない。一人では死ねない』『大切な時間を共に過ごさせていただきありがとうございます』と心の中でつぶやきながら・・・。これからもよろしくお願いします。

緩和ケア病棟施設概要

病室

全病床20床＋予備室1室で全室個室です。
室料あり：7室、 室料なし：13室（予備室は室料なし）

その他の設備

食堂・談話室、ファミリーキッチン、家族控室（宿泊可・有料）、面談室、説明室、介護浴室、一般浴室、洗濯コーナー、サンルーフ

緩和ケア病棟へのご入院について

- 主に、治癒が望めないと判断された悪性腫瘍の患者さんをケアします。
- 患者さんまたはご家族が病名・病状について理解していることが入院の条件です。
- 体調が安定したら、外泊したり、退院して緩和ケア外来に通院したり、在宅ケアを受けることもできます。在宅ケアは当院の在宅医療部が担当します。

看護助手から見た緩和ケア

4階病棟看護助手　山下　公子

緩和ケア病棟に所属して5年、沢山の出逢いと別れを経験し、毎日平凡に生きている事の有り難さ、難しさを実感しています。

緩和ケア病棟で、看護助手として出来る事は限られていますが、医療の知識がなくても、“人として”接していれば自然と出来る事が見出せることが分かりました。そのことを患者さんからだけでなく看護師さん達からも教えていただきました。

「まだ看護師の世話にはなりたくない。あんたでいい!」と、入浴介助に私をご指名下さった患者さん。「同じ年代の娘を持つ同じ母の立場で話をしたい」とある看護助手をご指名下さった患者さんもいらっしゃいました。

身体の痛み苦しみだけでなく、心の痛み苦しみと日々闘っておられる患者さん。そんな患者さんのため、先生・看護師をはじめ沢山のコメディカルがそれぞれの立場で、それぞれの知識を持ってチーム一丸となり患者さんと共に闘っています。時には一緒に悩んだり、一緒に泣いたりしながら・・・。

患者さん・ご家族に寄り添うこと、それが看護助手の私が思う『緩和ケア』です。

クリスマス会

緩和ケア外来・相談のご案内

緩和ケア外来を受診される方や入院の相談や見学を希望される方は、必ず電話予約をお願いいたします。

●**電話受付時間**　平日 9:00 ～ 17:00
TEL 092-565-3531（代）
連携室のソーシャルワーカーが対応します

●**緩和ケア外来**　受付時間（予約制）火・水・木曜日 13:00 ～ 16:30
通院での緩和ケアも行います。緩和ケア病棟退院後の診療も行います。

入院費について

医療費は、健康保険制度による給付割合に従った料金です。
高額医療給付制度の適用があります。

那珂川病院健診センターが開設しました!

外来副主任　健診センター　中島　環

那珂川病院健診センターが2011年11月11日に外来ドック、入院ドック、各種健康診断をはじめとする予防医学のための専門施設として開設致しました。これまでも一般診療に混じって様々な企業様の健診、多種多様な個人健診、市健診など対応してまいりましたが、健診センター開設に伴いセンター内での独立した検査、診察が可能となり、待ち時間が短縮されました。

また、MRI、マンモグラフィーの導入に伴い、更に高度な検査による病気の早期発見、早期治療への連携が期待されます。健診時のデータは、万が一の病気やけがの時にも院内のカルテに連携して利用できます。生活習慣の改善のために栄養士毎による保健指導も行っています。昨年11月16日に行われた内覧会では、沢山の方々にお披露目することができました。院内の健診委員会をはじめ病院全体で受診者が快適に健診を受けられるように日々奮闘中です。

長い人生をハツラツと健やかに送っていただくためには日頃の健康づくり、病気の早期発見が欠かせません。快適で、安心して健康診断、保健指導が受けられるよう笑顔と真心を大切にし、質の高い総合健診センターを目指したいと思います。新しくオープンしたセンターで一度、健康チェックをされてみてはいかがでしょうか?

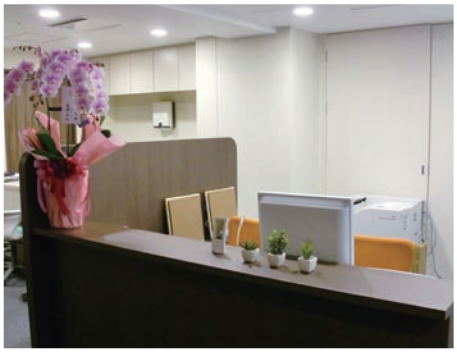
健診受付時間

平日　9:00～14:00
（土曜9:00～11:00）
健康診断は予約（電話、窓口）が必要です。

予約（電話、窓口）の受付時間

平日　9:00～17:00
（土曜9:00～12:00）
健診センター担当　森藤
※詳しくはホームページをご覧ください。

落ちついた雰囲気の健診センター入り口



健診受診者の専用受付です。

那珂川病院健診センターが開設しました!

診察室

控え室、更衣室を完備しています。

マンモグラフィーは女性技師が撮影担当します。

増改築工事完了のお知らせ

那珂川病院では、これまで医療サービスの要求にあわせ施設の拡充や医療機器等の整備充実を図ってまいりましたが、施設の老朽化・狭隘化が著しく、地域の中核病院としての病院機能の不備を招いていました。このような背景から、新しい時代に対応した医療環境を整備することと、大規模災害を見据えた施設作りを目的として、平成22年5月、増改築工事に着手しました。

平成23年5月に新棟（東棟）が完成し、リハビリ部門、手術室、中央材料室、栄養部（厨房）の拡張と移転が実現しました。さらに11月には既設棟の改修が完了し、透析ベッドの拡張、院内託児所の拡張及び環境改善、そして長年の懸案でありましたMRIの導入や、マンモグラフィーを完備する健診センターをオープンすることが出来ました。

工事期間中は利用者の皆様や近隣住民の方々には、何かとご迷惑・ご不便をおかけしましたが、この改築を期に地域の中核病院として急性期を中心とする医療、そして予防医療を更に充実してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

常勤医師診療担当表

医師名	担当領域
下川　敏弘	消化器外科、呼吸器外科、透析
大国　貴史	消化器外科、透析、漢方
古賀　健資	消化器外科、呼吸器外科
吉村　寛志	大腸・肛門外科、消化器外科
宮脇　龍一郎	循環器内科
筒井　伸一	消化器内科
大内田　敏行	放射線科
片桐　邦彦	脳神経外科
金宮　八重子	脳神経外科
原口　勝	緩和医療
古賀　善彦	リハビリテーション科（回復期）
熊澤　浩明	外科
福永　昌幸	麻酔科・外科・救急
竹内　一馬	血管外科・循環器内科

平成24年1月1日現在